

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	服部緑地複合型温浴施設新築工事	階数	地上3F
建設地	大阪府豊中市服部緑地	構造	S造
用途地域	無指定	平均居住人員	800人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,100時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2025年2月7日
敷地面積	7,578㎡	作成者	河村 洋志
建築面積	2,116㎡	確認日	2025年2月7日
延床面積	5,071㎡	確認者	平岡 勝己



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 2.8	Q2のスコア = 2.8	Q3のスコア = 3.4
音環境: 1.0, 温熱環境: 2.6, 光・視環境: 3.3, 空気質環境: 3.8	機能性: 3.0, 耐用性: 2.7, 対応性: 2.7	生物環境: 3.0, まちなみ: 4.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.5	LR2のスコア = 2.6	LR3のスコア = 3.2
建物外皮: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.6, 効率的: 2.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.4, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.7, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
緑地公園の側に施設が計画されるため、緑地が形成していた景観を損なわないように配慮した。また、緑地と施設、地域の方々とのつながりを創造するために地域ラウンジを設けている。	特になし
Q1 室内環境 施設利用者が快適に過ごすことができるように、温熱環境、昼光、化学物質の発生等に配慮した。	Q2 サービス性能 設備の更新や修繕計画において、極力無駄のない計画としている。
Q3 室外環境(敷地内) 緑地公園の景観への配慮、地域とのつながりを考慮した計画としている。	LR1 エネルギー 断熱の強化、効率の良い設備の採用した。
LR2 資源・マテリアル 環境に良い材を極力採用するように配慮した。	LR3 敷地外環境 周辺環境に及ぼす影響をできる限り削減するように配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	服部緑地複合型温浴施設新築工事						
建設地	大阪府豊中市服部緑地						
用途/区分	集会所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					5	
		<small>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</small>	<small>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</small>	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					4	
		<small>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</small>	<small>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</small>	評価対象外		評価対象外	
	<small>非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分</small>					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.6	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							